

○ 農山漁村において、今後、更なる人口減少や高齢化が進む中で、地域のコミュニティ機能を維持し、地域ににぎわいを取り戻すためには、農林水産業を魅力ある成長産業とするとともに、所得・雇用の確保、住みよい生活環境の構築等により、若者の移住・定住の実現を図ることが必要。

「まち・ひと・しごと創生本部」
の下で、関係府省が連携して施策を推進

農山漁村の所得を確保し、移住・定住を実現するための取組内容

I 所得向上と雇用の確保

- 農林水産業の成長産業化による所得の向上
 - 農村への工業等の導入、地産地消等
 - 農業法人・森林組合等への雇用促進
 - 国産材CLTの利用拡大、木質バイオマス等
- ・ 農の雇用事業、緑の雇用事業 ・ 都市農村共生・対流、田舎で働き隊
- ・ 6次産業化支援

II 住みよい生活環境の構築

- 都市の病院と地域の診療所の間でカルテ等を共有
 - 児童の通学、高齢者の病院送迎など一元的に対応するコミュニティバスの運行
 - 高齢者に対する配食・見守りサービスの実施
- ・ 各省予算事業との連携 ・ 農山漁村の生活環境施設の再編
- ・ 地域再生法の改正(農山漁村活性化計画とのワンストップ化)

III 地域資源の維持・管理

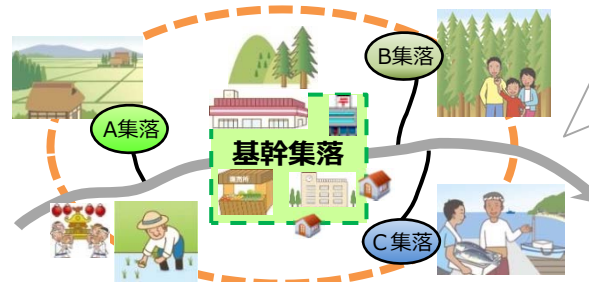
- 多面的機能を有する農地等の共同管理
 - 耕作放棄地の再生・利用、農村の土地基盤の再編
 - 地域ぐるみでの鳥獣被害対策
- ・ 多面的機能支払 ・ 中山間地域等直接支払

美しく活力ある農山漁村の実現に向けた取組

- 美しい農山漁村の実現に向けた取組の基礎として、地域住民の話し合いによって地域の「将来ビジョン」を策定するとともに、基幹集落への機能集約と集落間のネットワークの形成を目指し、計画的な施設整備や地域を担う組織インフラ等による下支えを行うことが必要。

【地域の「将来ビジョン」の策定】

- 地域の活性化に資する施設整備
 - ・ 土地利用計画に基づく整備
 - ・ 生活に不可欠な施設の集約や集落間のネットワークの構築
- 地域資源の掘り起こしと活用
- 地域住民に必要なサービスを提供する組織インフラの整備



※複数集落(小学校区、大字等)単位を想定

【基幹集落への機能の集約】

- ・ 医療、教育等の公共サービスの拠点機能を集約
- ・ 介護、買い物等の住民サービスの提供機能を発揮

【集落間のネットワーク化】

- ・ コミュニティバスの運行、無線LANの整備
- ・ 集落間で連携した農地の共同管理や、農産物の庭先出荷

地域住民が中心となった話し合い

地域住民による、地域の将来像についての徹底的な話し合い。



徹底した話し合いを経て
ビジョン策定

【農山漁村の所得を確保し、移住・定住を実現するための取組内容】

I 所得向上と雇用の確保

II 住みよい生活環境の構築

III 地域資源の維持・管理

取組の基盤として下支えが必要

【計画的な施設整備等】

臨時国会に提出

農林水産物加工・販売施設等の拠点への整備を迅速、円滑に実施。
【地域再生法改正による農地法・農振法の特例】

関係省庁と連携して、さらに検討

地域の共同活動による農地の保全を図りつつ、

- ・ 地域資源を活用した産業創出や農村への工業等の導入による所得確保・雇用創出
- ・ 交通施設等の整備による集落間のネットワーク化
- ・ 「小さな拠点」(道の駅等)や医療、介護施設、保育施設等の拠点への整備等を計画的に推進する仕組みについて検討

【地域を担う組織インフラの整備】

- これまで農林水産業の活性化や地域資源の維持の役割を担ってきた民間団体やNPO等を活用して、地域住民に必要なサービスを提供